



# Mujin Consulting Recruit

## Contents

About Us  
会社概要

Business Overview  
事業概要

Project  
プロジェクト事例

Career  
働き方

Company Benefit  
福利厚生

Workplace  
オフィス環境

# Mujin Japan 会社概要

社名	株式会社Mujin Japan
所在地	〒135-0053 東京都江東区辰巳3-8-5
代表	荒瀬勇（取締役CEO）
事業開始	2024年4月
従業員	150名（2026年1月現在）
関連会社	株式会社Mujin Mujin China Mujin US Mujin Europe



VISION STATEMENT

過酷な労働から人々を解放し、  
人類が創造性、技術革新、  
そして世界をより良くする活動に  
集中できる世界を実現する。

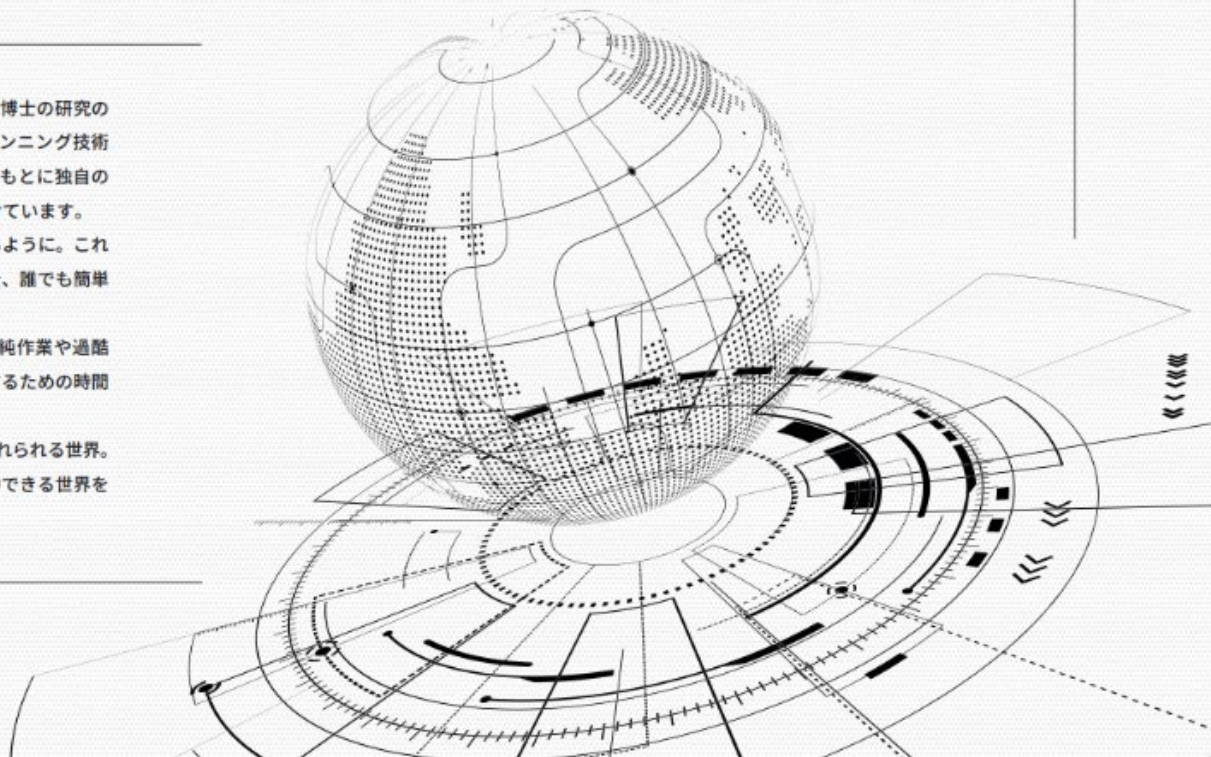
Liberate humans from  
manual labor to make them  
focus on creativity, innovation,  
and making the world  
a better place.

Mujinは、創業者のひとりであるCTOのRosen Diankov博士の研究のもと、この50年間不可能とされてきたモーションプランニング技術のロボットへの「実用化」を世界で初めて成功。それをもとに独自のロボット知能化技術を確認し、新しい価値の創造を続けています。これまで不可能であった工程を、ロボットで対応できるように。これまで複雑すぎて一部の人にしか扱えなかったロボットを、誰でも簡単に使えるように。

私たちは、知能化技術がロボットの可能性を広げ、単純作業や過酷な労働に費やされている時間を、生活や社会を豊かにするための時間に変えられると確信しています。

必要とするすべての人が産業用ロボットを簡単に取り入れられる世界。創造、技術革新、そして世界をより良くする活動に集中できる世界を目指し、Mujinは進んでいます。

Mujinの目指す世界



# Mujin Values

Mujinでは、7つの行動指針のもと、目的意識と主体性を持ち、最後の一分までやり抜く仲間と共に、世界を変える挑戦を続けています。

**1**

最小資源と  
最高スピードで  
イノベーションを起こす  
INNOVATE WITH  
THE HIGHEST SPEED  
AND EFFICIENCY



**2**

最後の一分まで  
断じて諦めない  
NEVER GIVE UP,  
NEVER SURRENDER



**3**

自分が最初に始める、  
主体性をもって  
行動を示す  
TAKE INITIATIVE,  
BE INDEPENDENT



**4**

目的意識を常に持って  
行動する  
UNDERSTAND  
THE BIG PICTURE



**5**

仕事に  
夢中であれ  
BE CRAZY  
ABOUT YOUR JOB



**6**

周りを激励し、  
共に成長する  
INSPIRE OTHERS  
TO GROW



**7**

最高品質を  
追求する  
PURSUE  
THE HIGHEST QUALITY



# 沿革

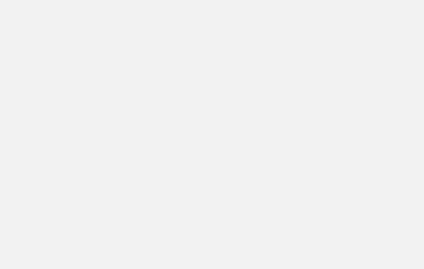
Mujinは、CTOのRosen Diankov博士の研究のもと、50年間不可能だったモーションプランニング技術のロボットへの実用化を世界で初めて成功。その成果をもとに独自の自動化技術を磨き上げ、新しい価値創造を続けています。



2011年7月  
Mujin創立



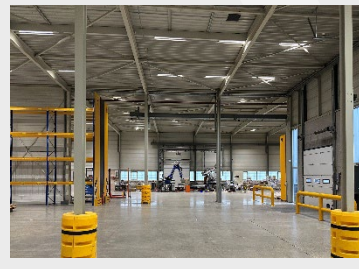
2015年1月  
世界初・汎用的  
ロボットコントローラ発売



2019年4月  
中国オフィス設立



2021年5月  
米国オフィス設立



2023年10月  
欧州オフィス設立



2024年4月  
(株)Mujin Japan設立



2019年4月  
大型デッド調達

2019年6月  
アクセントゥア協業開始

2019年8月  
本社・江東区辰巳移転

2019年11月  
ファーストリテイリング  
パートナーシップ締結

2024年1月  
Accenture Alpha Automation JV設立  
※Mujin×アクセントゥアでの共同出資ベンチャー



# Mujinの評価

技術力と実装力を両立する企業として、Mujinは数々の賞やメディアから高い評価を受けています。24の受賞歴、そして特許価値の成長評価は、その技術の質と深化の裏付けです。

受賞数

25

- ロボット大賞(経済産業大臣賞)
- 日本ロボット学会 (ロボット活用社会貢献賞)
- オープンイノベーション大賞(内閣総理大臣賞)
- Japan Venture Award (中小企業庁長官賞)
- 技術経営・イノベーション大賞(文部科学大臣賞)
- 日本機械学会賞(技術)
- 日本MH大賞(特別賞)
- ロジスティクス大賞(技術革新特別賞)
- スタートアップオブザイヤー
- 十大新製品賞(日本力賞 受賞) 等



自動化・ロボティクス関連特許数

550+

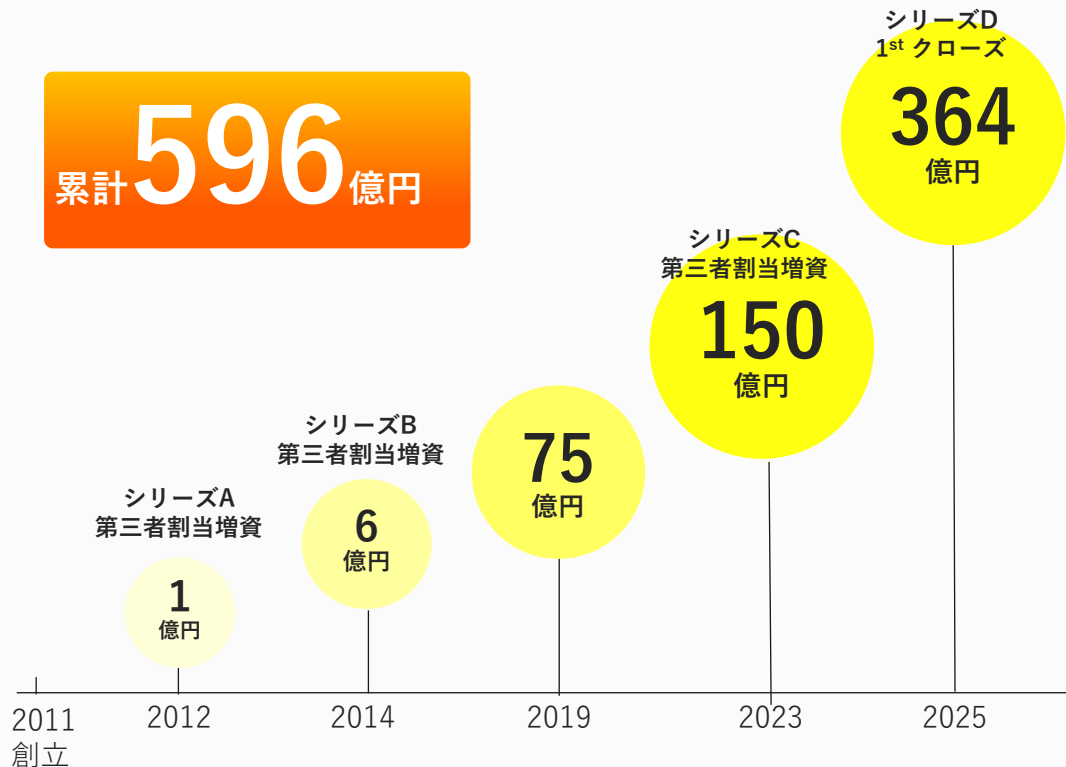
## <日経ビジネス>企業の特許価値成長ランキング (国内・2024年版)

1位	東京エレクトロン	10位	出光興産
2位	日本たばこ産業	11位	ファナック
3位	村田製作所	12位	大塚ホールディングス
4位	ダイキン工業	13位	武田薬品工業
5位	AGC	14位	旭化成
6位	京セラ	15位	荏原
7位	JFEホールディングス	16位	クラレ
8位	デンカ	17位	<b>Mujin</b>
9位	マキタ	18位	川崎重工業

# Mujinはまさに今急拡大期

製造・物流分野で労働力不足を背景にニーズが高まる中、産業オートメーション市場は2024年に約2063億ドル、2030年には3785億ドル規模へと年平均10.8%成長しています。世界的な市場拡大とともに、Mujinも加速度的に成長中。資金・人材ともに投資が進む今こそ、拡大フェーズの中心で挑戦できる絶好のタイミングです。

## 資金調達の内訳



## 従業員数の推移



# NEXT ユニコーン Mujin (日本経済新聞記事抜粋)

## 2025年度に企業価値上位の企業

	社名(事業内容)	企業価値(増減率)
1	Sakana AI(AI開発)	2084億円(8%)
2	SmartHR(人事労務ソフト)	1896 (3)
3	Preferred Networks(AI開発)	1621 (▲53)
4	五常・アンド・カンパニー (新興国向け小口金融)	1323 (▲1)
5	Mujin(ロボット制御ソフト)	1128 (▲5)
6	LayerX(業務効率化クラウド)	997 (155)
7	ティアフォー(自動運転システム)	996 (▲1)
8	LegalOn Technologies (法務AIサービス)	929 (2)
9	アンドパッド(建設管理クラウド)	880 (1)
10	STORES(店舗向けシステム)	786 (▲17)
11	京都フュージョニアリング (核融合発電)	726 (1)
12	キャディ(製造業AIデータ基盤)	705 (7)
13	カケハシ(薬局向けシステム)	651 (47)
14	Telexistence(飲料補充ロボット)	615 (3)

(注)企業価値は25年9月末時点。登記情報などを基に日経推計。  
増減率は前年度比、▲はマイナス

[https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC13A040T10C26A1000000/?\\_fsi=1fziK0uM&\\_gl=1\\*1d9jpsn\\*\\_gl\\_au\\*NDAwNzMwNDAA0LJE3NzAyOTUyMjluMTU4NTc3NDEyMy4xNzcwNTM3MzYzLjE3NzM1MzcwNjI\\*\\_ga\\*MTQ5ODU0NzIxM4xNzcwMjk1Mjly\\*\\_ga\\_PXS84515BG\\*czE3NzM1MzcwNzckbzQkZzEkdDE3NzM1Mzc0NjckajlyJGwwJGgw](https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC13A040T10C26A1000000/?_fsi=1fziK0uM&_gl=1*1d9jpsn*_gl_au*NDAwNzMwNDAA0LJE3NzAyOTUyMjluMTU4NTc3NDEyMy4xNzcwNTM3MzYzLjE3NzM1MzcwNjI*_ga*MTQ5ODU0NzIxM4xNzcwMjk1Mjly*_ga_PXS84515BG*czE3NzM1MzcwNzckbzQkZzEkdDE3NzM1Mzc0NjckajlyJGwwJGgw)

企業価値  
“1000億円超”の  
Nextユニコーン企業

## 2025年の調達額ランキング

	順位	企業名	調達額(億円)
1	1位	Mujin	208.5
<small>事業内容</small> ロボット制御ソフトの開発			
2		Sakana AI	200.0
<small>事業内容</small> 人工知能(AI)開発			
3		Turing	166.7
<small>事業内容</small> 自動運転システム開発			
4		LayerX	150.0
<small>事業内容</small> 経費精算など業務効率化システム			
5		Third Intelligence	90.0
<small>事業内容</small> AI開発			
6		Gaudiy	82.9
<small>事業内容</small> ブロックチェーンによるファン経済圏構築			
7		アークエッジ・スペース	80.0
<small>事業内容</small> 超小型人工衛星の開発・運用			
8		ウタイト	70.0
<small>事業内容</small> [2.5次元]コンテンツの運営・プロデュース			
9		カケハシ	66.5
<small>事業内容</small> 調剤薬局向けの業務システム			
10		T2	55.0
<small>事業内容</small> トラックの自動運転システムの開発			
11		Preferred Networks	51.8
<small>事業内容</small> AI開発			
12		hacomono	46.0
<small>事業内容</small> フィットネス施設向け情報管理システム			
13		クリーンエナジーコネクト	42.8
<small>事業内容</small> 太陽光発電所開発			
14		イノバセル	42.8
<small>事業内容</small> 再生医療			
15		キャディ	42.0
<small>事業内容</small> 製造業向けの図面データ分析サービス			

2025年の調達額  
ランキングNo1  
“200億円超”

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC256110V21C25A2000000/>

# 大手企業様との業務提携や協業を重ねながら、知能ロボットは普及期へ



2025/12



2019/11



2023/10



2019/6



2015/12



2011 found

2015

2019

2023

2025

# 数字で見るMujin

年齢や経歴にとらわれず、互いを尊重し合うフラットな関係性のなかで、信頼をベースに一人ひとりが自分らしい働き方を築いています。成果に向けて主体的に動ける自由なカルチャーが、Mujinには自然と根づいています。

中途入社

90%

平均年齢

36.7歳

男女比率

7:3

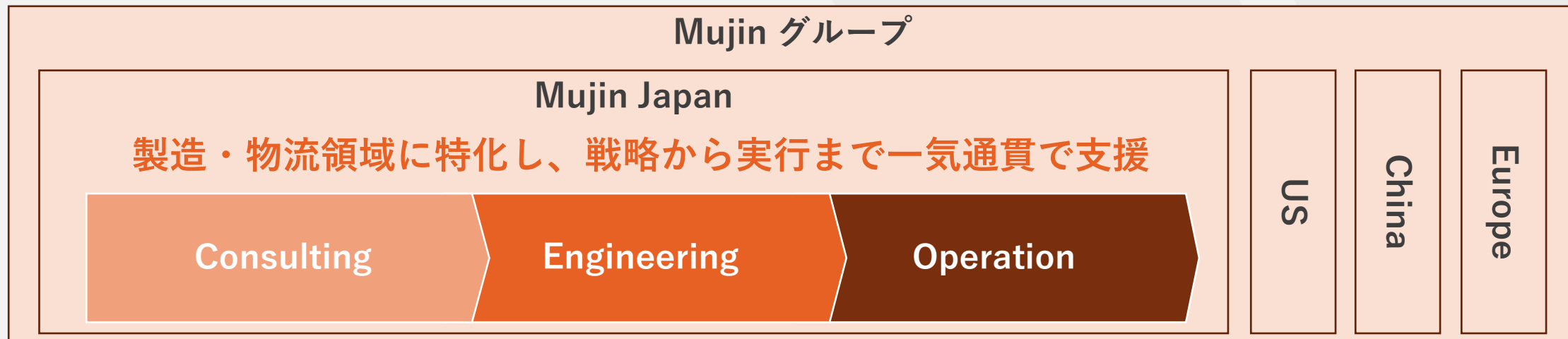
男女育児取得率

100%

外国籍社員

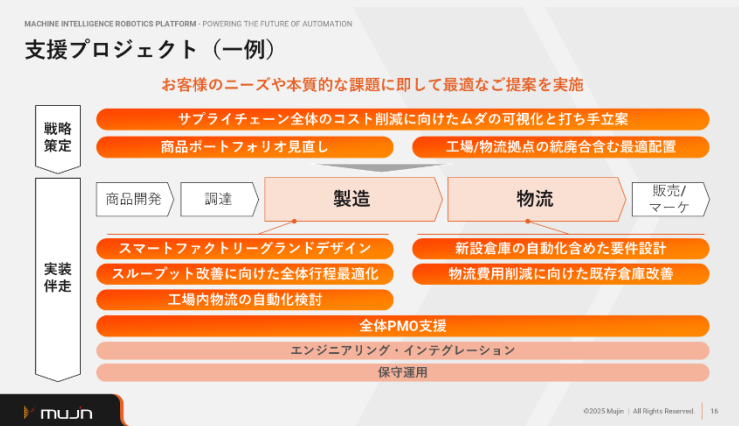
15%

# Mujin組織と提供サービス



## Consulting

### 製造・物流特化コンサルティング



## Engineering/Operation

### フィジカルAIソリューション導入と運用



# 製造・物流業界による経営課題

利益創出と事業継続にも関わり経営アジェンダとしての優先度はさらに高まっている

## 労働力不足の深刻化による 事業継続性の担保

- 日本国内の少子高齢化による、**工場や倉庫の運営に向けた採用ハードルの上昇**
- 採用増<退職増による、**少ない人員での事業運営体制/ノウハウの形式知化**などのプロセス構築が急務

## 原材料費/人件費高騰による 自動化などコスト削減の要請

- 円安や米国関税における**原材料費の上昇**や、**国内/海外で人件費が高騰**し、各社でコスト削減に向けた自動化の取り組みが加速
- 一方で**倉庫運営は3PL委託、生産についても本社から見えずブラックボックス化**しておりP/L・BS改善への打ち手が立てにくい

## 製造/物流領域の IT/デジタル投資の遅れ

- **本社IT部門と分断、製造/物流現場にはIT/デジタルの知見がなく**最新テクノロジーを活用した抜本的な改革/改善などの打ち手を立案ににくい構図
- **製造現場では製造設備の改善重視**となり物流領域の改善余地はホワイトスペース

# Mujin Consultingのスタンス

経営と現場を繋ぎ、戦略立案から実行までをお客様と同じ目線で伴走ご支援

## 戦略立案型

- 机上の数値分析や目指したい姿を設計
- 現場や実行を無視した絵に描いた餅になりがち

戦略コンサルティング会社

## 経営と現場両輪の 伴走パートナー型

- 定量と定性両面の分析から、経営戦略を各現場の状況に即したやり方/アプローチで推進
- 共同推進パートナーとして伴走型で実行までを責任をもってPJ推進



## 現場張り付き型

- 各工程など個別領域の最適化
- 社員代替のように製造現場の御用聞きになりがち

製造コンサルティング会社  
SIベンダー

# Mujin Consultingが選ばれている理由

他社と比較し“製造・物流領域”に圧倒的な強みを持つ

1

特定ベンダーの色がつきにくいいため、フラットな視点が提供できる

2

知能ロボット x AGV など最新テクノロジーを活用した次世代ソリューションを駆使した提案ができる

3

製造・物流領域に特化し次世代ソリューションの実装や豊富な現場ノウハウが蓄積されお客様に還元できる

# 支援プロジェクト（一例）

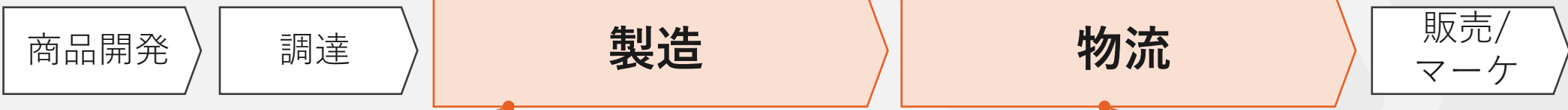
お客様のニーズや本質的な課題に即して最適なお提案を実施

戦略  
策定

サプライチェーン全体のコスト削減に向けたムダの可視化と打ち手立案

商品ポートフォリオ見直し

工場/物流拠点の統廃合含む最適配置



実装  
伴走

スマートファクトリーグラウンドデザイン

新設倉庫の自動化含めた要件設計

スループット改善に向けた全体行程最適化

物流費用削減に向けた既存倉庫改善

工場内物流の自動化検討

全体PMO支援

エンジニアリング・インテグレーション

保守運用

# 業界トップ企業への導入実績多数（一部抜粋）

TOYOTA

AEON

KAO

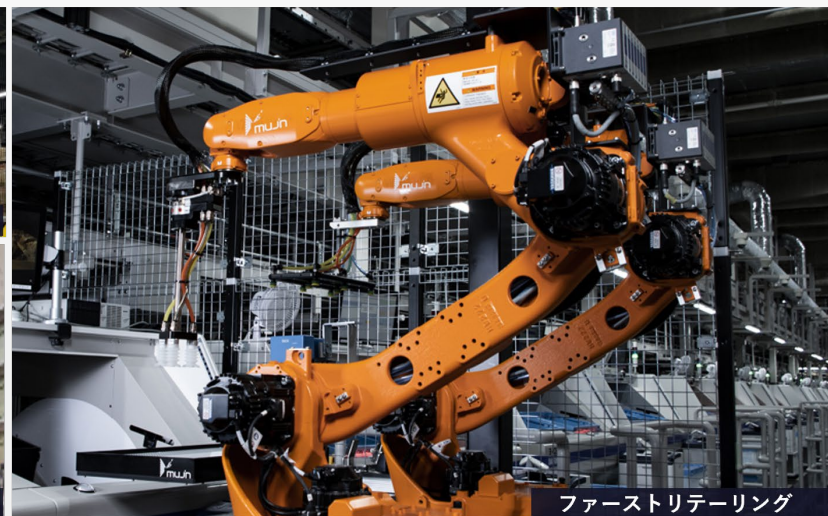
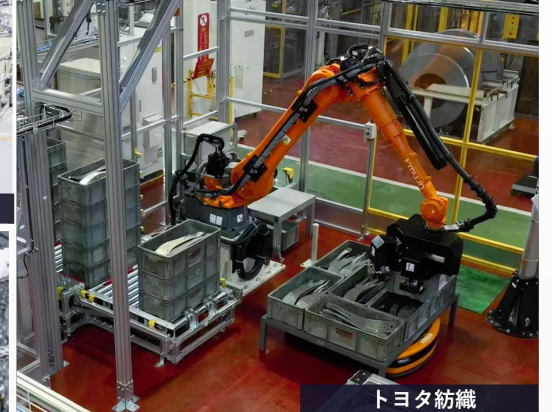
UNI  
QLO

SUBARU

PALTAC

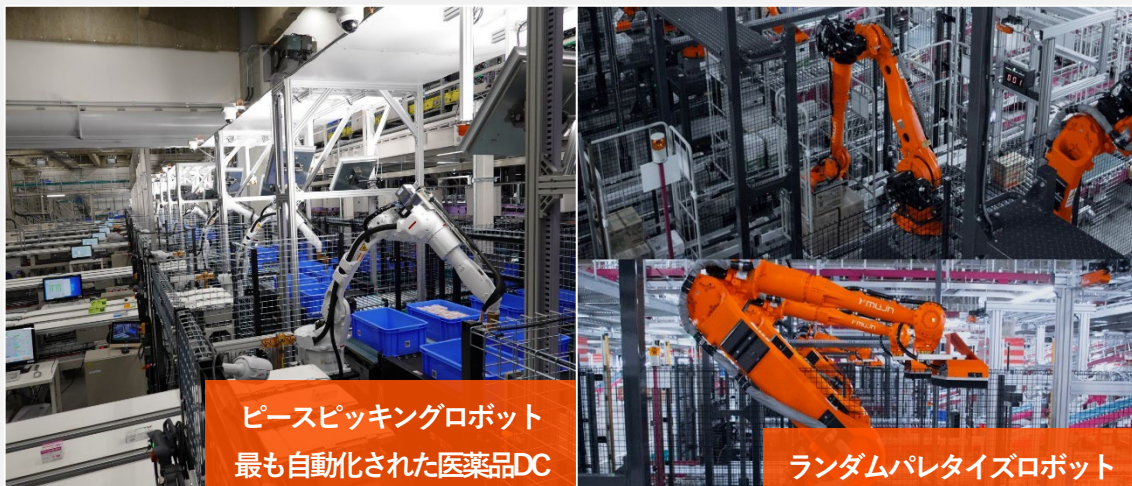
CAINZ

ニチレイロジグループ



# Mujin フィジカルAIによるロボット市場の拡大（倉庫/工場）

## 倉庫



ピースピッキングロボット  
最も自動化された医薬品DC

ランダムパレタイズロボット



AGVによるトータルデパレ/  
パレソリューション

1,000以上の稼働実績  
物流業界で  
**95%以上**のシェア

## 工場



大手自動車部品工場  
次世代スマート工場自動化

大手自動車組立ライン



大手自動車EV組立ライン

1,000以上の稼働実績  
日本で**トップクラス**の  
スマート工場プロパイダー

プロジェクト映像は、YouTubeチャンネルをご覧ください  
<https://youtu.be/Ofs9a8Wwpfs>

# Consulting Project 01

## サプライチェーン全体のコスト削減戦略策定

### プロジェクトの背景・目的

電子楽器をグローバルで展開する大手楽器メーカーがクライアント

中期経営計画に掲げている営業利益率達成に向けて利益率の向上施策と、売上拡大に向けたR&D費用の原資捻出したい

特にサプライチェーン領域は各部門で個別最適化されており、横断的にコスト改善余地を把握している部門が不在の為、手付かずの領域

その為、サプライチェーン横断した削減余地を可視化し、削減に向けて施策実行方針の策定を進めたい

### 支援内容

初期フェーズでは、クライアントから依頼がある海外工場のコスト削減余地見極めに向けて現地への工場視察と従業員へのインタビューによるオペレーターの生産性分析によるコスト削減改善を導出  
サプライチェーン横断したコスト削減余地は数十億円規模に及ぶ

後続フェーズでは、サプライチェーン全体の最適化に向けた製品別の利益構造の再設計による製品ポートフォリオ見直しと、間接費削減に向けて削減余地についてディープダイブし、コスト削減の実行を伴走支援

# Consulting Project 02

## 物流戦略の策定と実行支援

### プロジェクトの背景・目的

様々な事業を展開する日本最大級のコングロマリットリ  
テール企業がクライアント

数十年前の物流検討から大きな改革ができておらず、  
設備やITも老朽化  
現行の複数事業を展開している業態にあっていない  
旧来のテクノロジーベースで構築しており、データの取  
得なども不可の状態  
商品戦略の加速と企業買収してきたことにもより  
物流が非効率

発注～配送から抜本的な物流改革の推進が必要

### 支援内容

エリア別の物流構造改革の戦略検討とエリア別の拠点数  
を基にしたセンター規模やオペレーション/自動化設計/  
移行計画策定

戦略実現に向けた各物流拠点の刷新と自動化ソリュー  
ション導入に向けたエンジニアリングとPMOなどの伴  
走支援

また構造改革に向けたパートナーシップを締結し改革を  
推進

# Consulting Project 03

## MRO工場のターンアラウンドタイム削減

### プロジェクトの背景・目的

クライアントは、中長期的に着実な増加が見込める航空機需要に対して、アフターマーケット事業をドライバーに収益/利益拡大を狙っている

取り組みの対象となる工場では航空エンジンのMRO事業を展開しているが、過去大きな投資が実現できておらず、自動倉庫も老朽化  
一方で今後成長領域を担う工場として生産量を拡大したいが、定年退職増と採用しにくい課題あり  
現状の要員のまま対応数量を増加したい

ターンアラウンドタイム向上による工場の生産性向上

### 支援内容

ターンアラウンドタイム（TAT）短縮に向けた、工場内のコスト構造の可視化から、3つの具体的なテーマに切り出し推進

1. 各製造工程ごとの現地インタビューやデータ分析による改善余地導出
2. 自動倉庫の刷新にむけて現状の物量分析による最適な自動倉庫の構想検討
3. 自動倉庫の刷新中の運用継続に向けた外部倉庫への移設計画

# Mujin Consultingにおけるキャリアレベル

General Manager	Management Role
Manager	PJ Manager Role
Senior Consultant	
Consultant	Leader Role
Analyst	Staff Role

# 生産技術/コンサルティング業界出身が中心のメンバー構成



BCG



OMRON  
accenture



AISIN



NISSAN  
EY



DENSO  
IGPI



amazon  
Funai Soken



PE



DAIFUKU  
Automation that Inspires  
トヨカネツ株式会社



OMRON

# Career Story 01 (25年度入社/技術営業出身)



Mujin Consulting  
Consultant

## 経歴

2016年、新卒で大手産業機器メーカーに入社。

セールスエンジニアとして、自動化機器の導入プロジェクトに従事。  
その後、新規製品のニーズ調査から提案・導入立ち上げを任される。

## 入社理由

自動化のプロとして社会課題を解決したいと思い、Mujinへ。決め手は2点。

①ビジョンが明確だった。さらに、その実現に向けて全社で議論しながら新規事業を生み出す文化に、強く惹かれた。

②「ビジネス戦闘力」を身につけたいという思いが以前からあった。前職では数字や根拠をもとに上司を動かすことが思うようにできず、その力を磨ける環境を求めている。面接でAS本部長・嶋田氏と話す中で、前職で培った現場感覚をビジネスに昇華できる環境だと確信した。

## キャリア ビジョン

ゆくゆく事業企画に携わりたい。

顧客の声を開発側にフィードバックし、Mujinの製品・サービスのさらなる発展を促したいと考えている。

# 仕事の進め方（1日の働き方）



Consultant  
1日の働き方



# 入社後のオンボーディング・成長ジャーニー（一例）

## 2週間の研修を得た概要を理解！

自社技術の理解、物流/FA基礎知識、データ分析/スライドライティング、実PJを見据えたケーススタディ

## いつでも相談できる安心感

データ分析の進め方やPJでの困り事をPJ外のメンバーに定期的に相談できるタッチポイントがありPJワークに還元

Off-JT

▼入社

2週間

新入社員  
研修

Weekly

トレーニング&相談

OJT

2カ月

大手タイヤメーカー  
SCM改革PJ

1カ月

自動車部品メーカー  
工場内搬送自動化に  
向けた詳細検討

## 課題克服に向けて日々成長

前回PJでの課題克服に向けた、仮説立案/構造化などコンサルティングスキルをOJTで日々研鑽中！  
PJで日々丁寧にFBしてもらい、成長実感を感じながら仕事に邁進！

On going

大手タイヤメーカー  
工場内の搬送自動化に向けた  
コンセプト設計

## 1st jobの経験を活かし主体的にPJ推進

入社3カ月目の私にこんなに任してくれるの！？と戸惑いながらも学んだ仕事の進め方を使いながらPJ推進。  
色々な失敗もして学びも多かったが次の成長への課題が明確に！

新規事業計画

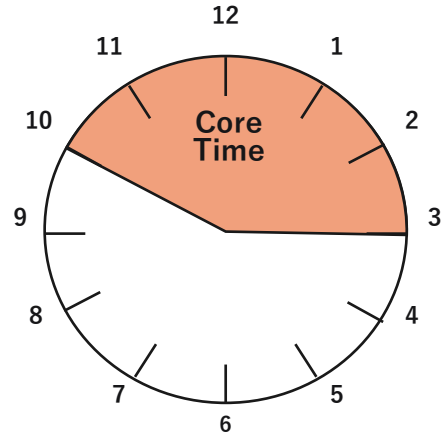
PJと並行して  
事業計画作成

# Training Program



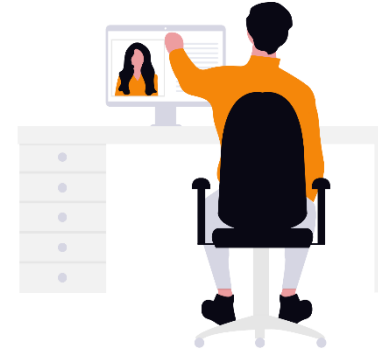
# 柔軟な働き方

## フレックスタイム制度



ライフスタイルに合わせて働ける柔軟な勤務体系を採用。  
(コアタイム：10～15時)

## リモートワーク



原則出社ではあるものの、  
打合せ続きの日や作業に集中したい日はリモートワークも可能。

お子様の急な体調不良にも柔軟に対応できます。

## 育児休暇取得率（男女）

# 100%

育児休業の取得率は、職種を問わず100%。男性での長期取得も実績多数です。

## 勤務地

# 転勤なし

東京・愛知のうち、ご希望の勤務地に配属。会社都合での転勤はありません。

# Company Benefit (福利厚生)

挑戦を支え、最高の力を発揮できるように。働きやすさとチームのつながりを大切にした環境を整えています。

## 各種社会保険完備

(関東IT健保)

安心して長く働ける環境を整えています。関東IT健保ならではの充実した福利厚生も魅力です。

## 自販機・スナック ・コーヒー無料

オフィス内のドリンクや軽食、CTOこだわりの高級コーヒーマシンはすべて無料。



## 服装・髪型自由 自由なスタイルで働けます。



## ジム/ 卓球スペース

東京オフィスにはジムと卓球エリアを完備。出勤前後やお昼休憩でのリフレッシュによく利用されています。



## 会社イベント

BBQや季節ごとの社内イベントを会社負担で月1開催(参加は任意)



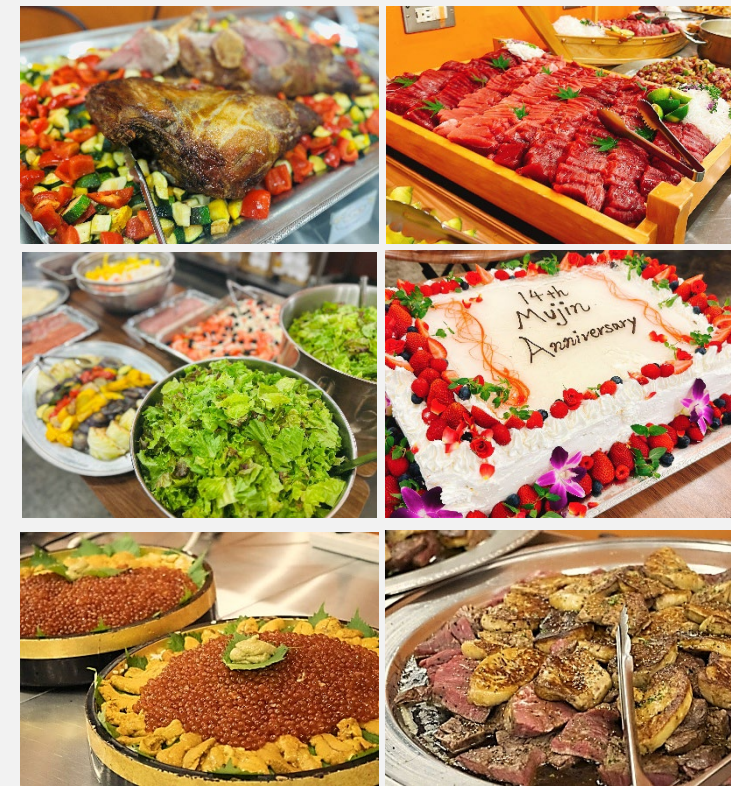
## チームディナー 月1補助



## 社食無料

(ビュッフェ形式のランチ)

ミシュラン店で修業した専属シェフが作る毎日手作りのフリーランチを無料で提供。

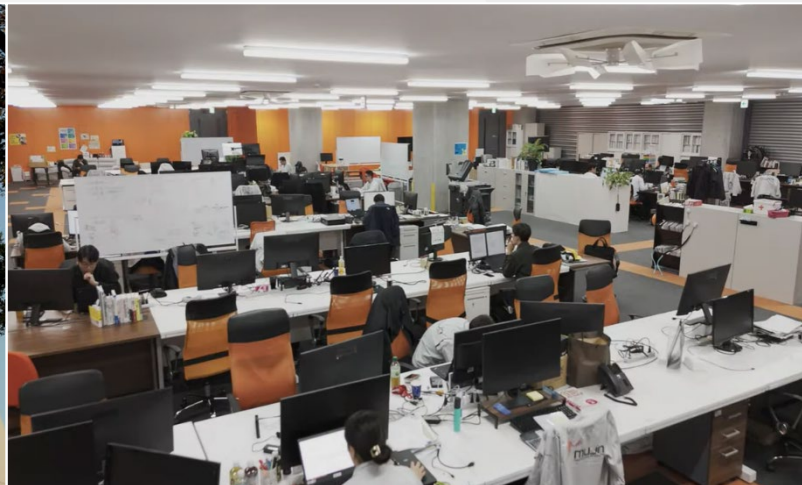


# Workplace (オフィス環境)

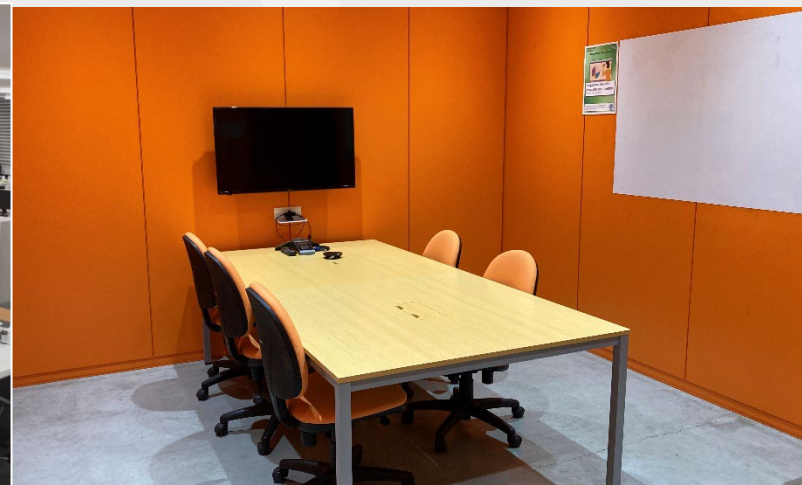
辰巳オフィス外観



オープンスペース



ミーティングスペース



デモスペース



カフェテリア



ジム

# Digital Media Communication

## コーポレートサイト



## ブログ



Mujinの”リアル”をお届け  
メンバーの声や日常を発信する  
株式会社Mujinオフィシャルブログ

## X



**Mujin Inc**

フォロワー1,274人・フォロー中13人

## YouTube



## note



## LinkedIn



## Facebook

